

調査要領

I. 記載要領

今回調査の記載要領は、前回調査の記載要領を元にして加筆しています。

今回調査で必要となる項目については黒字で、必要でない項目（参考情報）については薄字としています。

1. 建築基準法点検

【全般】

- この調査票は、前回調査で各府県から提出された調査票を元に、文部科学省において集計可能な形式に調整したものとなっていますので、本調査票に対して、行・列の追加や削除、セルの結合、シート名の変更、入力規則の解除や変更等の操作は一切行わないでください。
- 今回の調査で修正・更新を行ったセルを黄色塗りにした上で、各行最右列「変更の有無」（V列）に数字の「1」を入力してください。（修正・変更を行ったセルの数が複数ある場合も「1」としてください。修正・変更がない場合は空欄のままとしてください。）
- 回答内容に不整合がある場合（未是正なのに未是正理由が空欄、是正完了なのに是正完了時期が空欄など）や、日付を記入する欄に日付以外の情報が記入されている場合、プルダウンリストから選択する項目でリストにない文言（1文字でも誤字がある場合を含む。）が記載されている場合は、集計作業に重大な支障をきたす場合がありますので、提出前に必ず確認してください。
- この調査票には、会計検査院に提出した「様式5-1」又は「様式5-2」において、「是正状況」の「是正の有無」の欄に「×」（未是正）と回答した項目^{*}がある棟についてのみ回答して下さい。
※会計検査院の様式には、例えば「敷地及び地盤」（2行目）－「地盤」（3～5行目）－「地盤沈下等による不陸、傾斜等の有無」（6行目）などのように項目が記載されておりますが、今回の調査においてはこれらを「大項目」（2行目）－「中項目」（3～5行目）－「小項目」（6行目）と呼び、この「小項目」を項目の1単位とします。
- 会計検査院の様式では1行に複数の項目の指摘事項について記載できる形式となっていますが、今回の調査では1行に1件の指摘事項の情報を記載する形式としていますので、ひとつの棟において未是正と回答した項目が複数ある場合は、それぞれ複数の行に分けて記載してください。この際、各行の【都道府県名】～【階数】の欄については同一の内容をそのまま転記してください。（2行目以降を空欄にしたり、「〃」や「同上」等の表記を用いたりしないようにしてください。）
- 別添1に図示した、会計検査院様式と文部科学省様式との対応関係を参考にしてください。

【都道府県名】～【階数】

- 原則として変更する必要はありません。
- 会計検査院が既に入力していた情報をそのまま転記してください。

【指摘に係る項目（大項目～小項目）】

- 原則として変更する必要はありません。
- 未是正と回答した項目について、「大項目」、「中項目」、「小項目」の順番に該当する項目をプルダウンリスト^{*}から選択してください。
※中項目が、「外壁」（3行目）－「躯体等」（4～5行目）などのように、さらに細かく分かれる場合は、「外壁（躯体等）」などのように、括弧書きでまとめたものを中項目から選択してください。また、中項目が空欄であるものは、「※空欄」を選択してください。

【指摘の具体的内容】

○原則として変更する必要はありません。

○会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

○「分類」については、当該指摘内容に応じて、該当する分類を以下のプルダウンリストから選択してください。

- ◆「児童生徒等の安全確保上重大な支障があるもの」
- ◆「その他学校施設の機能保全上支障があるものなど」

○分類の考え方は以下のとおりです。

- ◆「児童生徒等の安全確保上重大な支障があるもの」

・指摘事項を是正せずに放置した場合、児童生徒等の生命身体に重大な危害が加わるおそれのあるもの

(例)

ベランダ手すりの劣化 → 手すりが外れて児童生徒が落下するおそれ
外装材のひび割れ → 落下して児童生徒に当たるおそれ
窓サッシの変形 → 脱落して児童生徒に当たるおそれ
防火戸の不具合 → 火災が児童生徒のいる教室等に延焼するおそれ
避難階段の損傷 → 地震や火災時に児童生徒が逃げ遅れるおそれ

など

- ◆「その他学校施設の機能保全上支障があるものなど」

・上記に該当しないもの

(例)

外壁躯体の軽微なひび割れ → ひび割れの進行や浸水による躯体の劣化・損傷のおそれ
屋上防水の破損 → 雨漏りや浸水による躯体の劣化・損傷老朽化のおそれ
換気設備の不具合 → 教室内の二酸化炭素濃度の上昇による空気環境の悪化のおそれ

など

【指摘時点】

○前回調査で提出された調査票の記載内容が、エクセルで「日付」として認識できる形式でなかった場合、「日付」として認識できるよう調整しております。この際、「年度」又は「月」までしか記載されていないものは、当該年度又は月のうち最も早い日付であるものとして記載しています。また、「不明」であるものについては、会計検査院が検査対象とした期間のうち最も早い日付（H21. 4. 1）であるものとして記載しています。

例) 「平成23年度」→「H23. 4. 1」

「平成24年8月」→「H24. 8. 1」

「不明」→「H21. 4. 1」

○上記調整に誤りがある場合を除き、原則として変更する必要はありません。

○会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

【是正の状況】

○平成28年12月1日時点での是正の状況を以下のプルダウンリストから選択してください。

- ◆「是正完了」
- ◆「未是正（一部是正済みを含む）」

○一部が是正されている場合であっても、全ての是正が完了していない場合は「未是正（一部是正済みを含む）」としてください。

【是正が完了した時期】

○前回調査で提出された調査票の記載内容が、エクセルで「日付」として認識できる形式でなかった場合、「日付」として認識できるよう調整しております。この際、「年度」又は「月」までしか記載されていないものは、当該年度又は月のうち最も遅い日付であるものとして記載しています。また、「不明」であるものについては、前回調査時点の日付（H27. 12. 1）であるものとして記載しています。

- 例) 「平成23年度」→「H24. 3. 31」
「平成24年8月」→「H24. 8. 31」
「不明」→「H27. 12. 1」

- 上記調整に誤りがある場合を除き、原則として変更する必要はありません。
- 今回調査で【是正の状況】を「是正完了」とした場合、その時期を年月日まで記載してください。
- 是正が完了している場合、その時期を年月日まで記載してください。
- 日付以外の情報は記載しないでください。（エラーメッセージが出ます。）

【未是正である理由】

- 今回調査で【是正の状況】を「是正完了」とした場合、本欄は空欄としてください。
- 今回調査時点で理由の変更がある場合は、以下にしたがって変更後の内容を記載してください。
- 未是正の場合、その理由を以下のプルダウンリストから選択してください。
 - ◆「是正に係る予算を確保できなかったため」
 - ◆「域内の全要是正事項の中での優先順位は高いが、数年以内に実施予定の改修等と併せて是正する予定であるため」
 - ◆「域内の全要是正事項の中での優先順位が低く、将来的な改修等と併せて是正することとしているため」
 - ◆「その他」
- 複数該当する場合は、その中で最も主たるものを選択してください。
- 「その他」を選択した場合、その内容を簡潔に記載してください。

【是正予定時期】

○前回調査で提出された調査票の記載内容が、エクセルで「日付」として認識できる形式でなかった場合、「日付」として認識できるよう調整しております。この際、「年度」又は「月」までしか記載されていないものは、当該年度又は月のうち最も遅い日付であるものとして記載しています。また、未是正のまま平成27年度末までに廃校等となるものは、本欄は空欄としています。

- 例) 「平成30年度」→「H31. 3. 31」
「平成29年8月」→「H29. 8. 31」

○今回調査で【是正の状況】を「是正完了」とした場合、本欄は空欄としてください。

- 今回調査時点で是正予定時期に変更がある場合は、以下にしたがって変更後の是正予定時期を記載してください。
- 是正が完了する予定の時期を年月日まで記載してください。
- 是正年度のみ確定している場合、当該年度末（3月31日）としてください。
- 是正時期が未定である場合は、「0」と入力してください。（エクセル上は「M33.1.0」と表示されますが、そのままです。）
- 日付又は「0」以外の情報は記載しないでください。（エラーメッセージが出ます。）

2. 消防法点検

【全般】

- この調査票は、前回調査で最終的に提出された調査票を元に、文部科学省において集計可能な形式に調整したものとなっていますので、本調査票に対して、行・列の追加や削除、セルの結合、シート名の変更等の操作は一切行わないでください。
- 今回の調査で修正・更新を行ったセルを黄色塗りにした上で、各行の最右列「変更の有無」（N列）に数字の「1」を入力してください。（修正・変更を行ったセルの数が複数ある場合も「1」としてください。修正・変更がない場合は空欄のままとしてください。）
- 回答内容に不整合がある場合（未是正なのに未是正理由が空欄、是正完了なのに是正完了時期が空欄など）や、日付を記入する欄に日付以外の情報が記入されている場合、プルダウンリストから選択する項目でリストにない文言（1文字でも誤字がある場合を含む。）が記載されている場合は、集計作業に重大な支障をきたす場合がありますので、提出前に必ず確認してください。
- この調査票には、会計検査院に提出した「様式3」において、「是正状況」の「是正の有無」の欄に「×」（未是正）と回答した項目がある学校についてのみ回答して下さい。
- 会計検査院の様式では1行に複数の項目の指摘事項について記載できる形式となっていますが、今回の調査では1行に1件の指摘事項の情報を記載する形式としていますので、ひとつの学校において未是正と回答した項目が複数ある場合は、複数の行に分けて記載してください。この際、【都道府県名】～【学校名】については同一の内容をそのまま転記することとし、空欄としたり「〃」や「同上」等の表記を用いたりしないようにしてください。
- 別添2に図示した、会計検査院様式と文部科学省様式との対応関係を参考にしてください。

【都道府県名】～【学校名】

- 原則として変更する必要はありません。
- 会計検査院が既に入力していた情報をそのまま転記してください。

【指摘に係る項目（項目）】

- 原則として変更する必要はありません。
- 未是正と回答した項目について、該当する項目をプルダウンリストから選択してください。

【指摘の具体的内容】

- 原則として変更する必要はありません。
- 会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

【指摘時点】

○前回調査で提出された調査票の記載内容が、エクセルで「日付」として認識できる形式でなかった場合、「日付」として認識できるよう調整しております。この際、「年度」又は「月」までしか記載されていないものは、当該年度又は月のうち最も早い日付であるものとして記載しています。また、「不明」であるものについては、会計検査院が検査対象とした期間のうち最も早い日付（H21.4.1）であるものとして記載しています。

例) 「平成23年度」→「H23.4.1」
「平成24年8月」→「H24.8.1」
「不明」→「H21.4.1」

○上記調整に誤りがある場合を除き、原則として変更する必要はありません。

○会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

【是正の状況】

○平成28年12月1日時点での是正の状況を以下のプルダウンリストから選択してください。

- ◆「是正完了」
- ◆「未是正（一部是正済みを含む）」

○一部が是正されている場合であっても、全ての是正が完了していない場合は「未是正（一部是正済みを含む）」としてください。

【是正が完了した時期】

○前回調査で提出された調査票の記載内容が、エクセルで「日付」として認識できる形式でなかった場合、「日付」として認識できるよう調整しております。この際、「年度」又は「月」までしか記載されていないものは、当該年度又は月のうち最も遅い日付であるものとして記載しています。また、「不明」であるものについては、前回調査時点の日付（H27.12.1）であるものとして記載しています。

例) 「平成23年度」→「H24.3.31」
「平成24年8月」→「H24.8.31」
「不明」→「H27.12.1」

○上記調整に誤りがある場合を除き、原則として変更する必要はありません。

○今回調査で【是正の状況】を「是正完了」とした場合、その時期を年月日まで記載してください。

○是正が完了している場合、その時期を年月日まで記載してください。

○日付以外の情報は記載しないでください。（エラーメッセージが出ます。）

【未是正である理由】

○今回調査で【是正の状況】を「是正完了」とした場合、本欄は空欄としてください。

○今回調査時点で理由の変更がある場合は、以下にしたがって変更後の内容を記載してください。

○未是正の場合、その理由を以下のプルダウンリストから選択してください。

- ◆「是正に係る予算を確保できなかったため」
- ◆「域内の全要是正事項の中での優先順位は高いが、数年以内に実施予定の改修等と併せて是正す

る予定であるため」

◆「域内の全要是正事項の中での優先順位が低く、将来的な改修等と併せて是正することとしているため」

◆「その他」

○複数該当する場合は、その中で最も主たるものを選択してください。

○「その他」を選択した場合、その内容を簡潔に記載してください。

【是正予定時期】

○前回調査で提出された調査票の記載内容が、エクセルで「日付」として認識できる形式でなかった場合、「日付」として認識できるよう調整しております。この際、「年度」又は「月」までしか記載されていないものは、当該年度又は月のうち最も遅い日付であるものとして記載しています。また、未是正のまま平成27年度末までに廃校等となるものは、本欄は空欄としています。

例) 「平成30年度」→「H31.3.31」

「平成29年8月」→「H29.8.31」

○今回調査で【是正の状況】を「是正完了」とした場合、本欄は空欄としてください。

○今回調査時点で是正予定時期に変更がある場合は、以下にしたがって変更後の是正予定時期を記載してください。

○是正が完了する予定の時期を年月日まで記載してください。

○是正年度のみ確定している場合、当該年度末（3月31日）としてください。

○是正時期が未定である場合は、「0」と入力してください。（エクセル上は「M33.1.0」と表示されますが、そのままです。）

○日付又は「0」以外の情報は記載しないでください。（エラーメッセージが出ます。）

II. 公表について

○平成21年度から平成24年度中の点検で指摘された事項のうち、平成26年4月1日時点で未是正であった要是正事項の数、平成28年12月1日時点で是正完了となった数、年度ごとの是正完了予定数等について府県ごとに集計した数値や、未是正理由等について公表する予定としています。

○要是正事項については、建築基準法点検については下表に掲げる項目（会計検査院が集計の対象とした項目）に該当するもののみを、消防法点検については全ての項目を公表に係る集計の対象とする予定です。

二 - 建 築 物 の 外 部	外壁（躯体等）	外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の防火対策の状況
		木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況
		組石造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況
		補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況
		鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況
	鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	
	外壁（外装仕上げ材等）	タイル、石貼り等（乾式工法によるものを除く。）、モルタル等の劣化及び損傷の状況
	乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況	

		金属系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況
		コンクリート系パネル（帳壁を含む。）の劣化及び損傷の状況
	外壁（窓サッシ等）	サッシ等の劣化及び損傷の状況
		はめ殺し窓のガラスの固定の状況
	外壁（外壁に緊結された広告板、空調室外機等）	機器本体の劣化及び損傷の状況
		支持部分等の劣化及び損傷の状況
三 屋 上 及 び 屋 根	屋上面	屋上面の劣化及び損傷の状況
	屋上回り（屋上面を除く。）	パラペットの立ち上り面の劣化及び損傷の状況
		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況
		金属笠木の劣化及び損傷の状況
		排水溝（ドレーンを含む。）の劣化及び損傷の状況
	屋根	屋根の防火対策の状況
		屋根の劣化及び損傷の状況
機器及び工作物（冷却塔設備、広告塔等）	機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況	
	支持部分等の劣化及び損傷の状況	
四 建 築 物 の 内 部	天井（令第 129 条各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分）	室内に面する部分の仕上げの維持保全の状況
		室内に面する部分の仕上げの劣化及び損傷の状況
	天井（概ね 500 m ² 以上の空間を有する建築物）	概ね 500 m ² 以上の空間の天井における耐震対策の状況
	防火設備（防火戸、シャッターその他これらに類するものに限る。）	区画に対応した防火設備の設置の状況
		居室から地上へ通じる主たる廊下、階段その他の通路に設置された防火設備におけるくぐり戸の設置の状況
		昭和 48 年建設省告示第 2563 号第 1 第 1 号口に規定する基準についての適合の状況
		常時閉鎖又は作動をした状態にあるもの以外の防火設備における煙又は熱を感知し自動的に閉鎖又は作動させる装置の設置の状況
		防火戸の開放方向
		本体と枠の劣化及び損傷の状況
		防火設備の閉鎖又は作動の状況
		閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の状況
	照明器具、懸垂物等	常時閉鎖の防火戸の固定の状況
		照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況
		防火設備の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況
五 避 難 施 設 等	避難上有効なバルコニー	手すり等の劣化及び損傷の状況
	階段（階段）	手すりの設置の状況
	排煙設備等（防煙壁）	防煙区画の設置の状況
		防煙壁の劣化及び損傷の状況
		可動式防煙壁の作動の状況
	排煙設備等（排煙設備）	排煙設備の設置の状況
		排煙設備の作動の状況
排煙口の維持保全の状況		

表 建築基準法点検に関する集計対象項目